

■ 株主メモ

|                 |  |
|-----------------|--|
| 事業年度            | 4月1日～翌年3月31日   |
| 期末配当<br>受領株主確定日 | 3月31日  |
| 中間配当<br>受領株主確定日 | 9月30日  |
| 定時株主総会          | 毎年6月   |
| 上場証券取引所         | 東京証券取引所 市場第一部  |
| 公告方法            | 電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。<br>電子公告掲載 URL <a href="http://cleanup.jp/">http://cleanup.jp/</a> |
| 単元株式数           | 100株   |

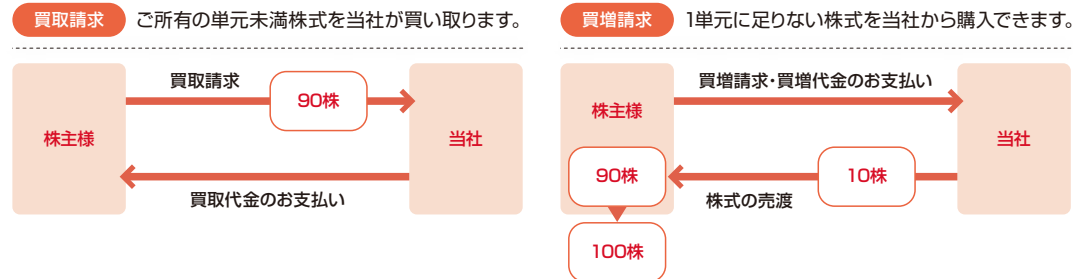
【株式に関するお手続きについて】

- 証券会社等の口座に記録された株式  
株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等(口座管理機関)にお問合せください。
  - 特別口座に記録された株式  
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。
  - 未受領の配当金  
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。
- 【株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関】  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 【同連絡先】  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

■ 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式につきましては、口座管理機関を通じ、当社に対して買取請求または買増請求をすることができます。お手続きの方法等につきましては、口座管理機関(証券会社等または三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部)にお問合せください。

(例) 株主様が単元未満株式を90株ご所有の場合



■ 特別口座をご利用の株主様へ

特別口座は証券会社等に開設された口座と異なり、自由な売買ができる口座ではありません。株式の売買等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設および特別口座からの振替手続きをお勧めいたします。お手続きの方法等につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部までお問合せください。



キッチンから、笑顔をつくろう

株主の皆さまへ  
第62期 第2四半期  
報告書

2014年4月1日から 2014年9月30日まで



## 株主の皆さまへ

中期経営計画の最終年度における  
総仕上げとして、  
『ザ・キッチンカンパニー』の  
取り組みに注力しております。



代表取締役社長  
井上 強一

### 2015年3月期 第2四半期連結累計期間の 連結決算ハイライト

- 売上高は、当初の増収予想を下回りましたが、前年同期比0.8%増となりました。
- 利益面では、営業利益が前年同期比33.1%減、経常利益が同35.0%減、四半期純利益が同65.8%減となりました。

一転して今年度は厳しい事業環境となりましたが、堅調に利益を上げることができました。

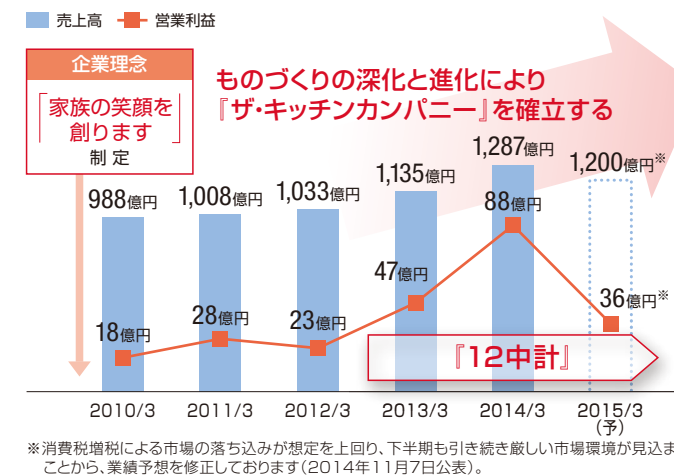
2014年度(2015年3月期)の事業環境は、前年度までの状況から一転して、非常に厳しい状況で推移しております。前年度は、政府による住宅取得支援策に加え消費税増税前の駆け込み需要もあり、新設住宅着工戸数が2014年2月まで18カ月連続で前年同月を上回るなど、市場環境は堅調でした。しかし、翌3月から一転、新設住宅着工戸数は9月まで7カ月連続で前年同月を下回る厳しい状況となりました。特に、5月以降は10%~15%の大幅なマイナスが続いております。

こうした厳しい環境下ではございますが、当社は、中期経営計画『12中計』の最終年度として、引き続

き、専門メーカーとしての地位確立をめざす『ザ・キッチンカンパニー』の取り組みを展開しております。具体的には、商品面ではシステムキッチンを中心とした商品の高付加価値化、販売面ではショールームの総合競争力強化、生産面では当社独自の受注生産方式『CPS(クリナップ・プロダクション・システム)』を基礎とした業務効率化を、複合的かつ積極的に推し進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、利益面で大幅な減益となりましたが、安定した収益基盤により減益幅を最小限にとどめることができましたと評価しております。

### ■ 当社の業績推移と中期経営計画『12中計』の概要



### 2015年3月期経営基本方針

『ザ・キッチンカンパニー』  
の確固たる確立

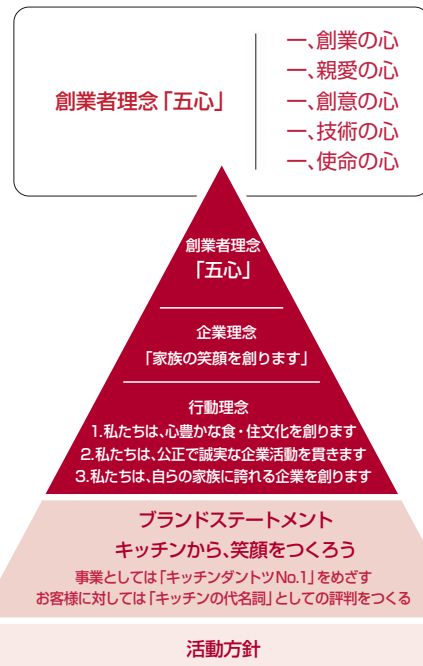
- 1 リフォーム政策のスピードを上げた推進
- 2 ショールームの総合競争力強化
- 3 システムキッチンのシェアアップ
- 4 CPS※活動の全社展開による業務効率化

※CPS:  
クリナップ・プロダクション・システム

## クリナップの企業理念

クリナップは、創業65周年(2014年10月)を迎え、「第二の創業」に向けた取り組みをさらに積極化してまいります。

### ■ 企業理念



上記三つの理念(創業者理念・企業理念・行動理念)に根ざした強い人材・組織・事業を育成することにより、経営を強化/高度化し、「The Kitchen Company」を確立します。

# 株主の皆さまへ

中期経営計画『12中計』の最終年度として、『ザ・キッチンカンパニー』の取り組みをさらに深めてまいります。

今年度は、中期経営計画『12中計』の最終年度であるとともに、創業65周年でもあります。この節目の年を、来る創業70周年に向けた実りある年にするべく、下期以降も、『ザ・キッチンカンパニー』の確固たる確立を目指して、商品力・営業力・生産力・海外事業力・ブランド力のすべてのパワーの強化に取り組んでまいります。

その中でも特に、ショールームを起点とした総合的な取り組みは、当社の持続的成長の原動力として、非常に重要な役割を担っているものと考えております。当社にとってショールームは、最も重要な“お客さまとの接点”です。だからこそこの数年間、「キッチンから、笑顔をつくらう」という活動を実践していく場として、ショールームの総合競争力の強化に努めてまいりました。具体的には、全国ショールームにおいて、全面リニューアルの順次

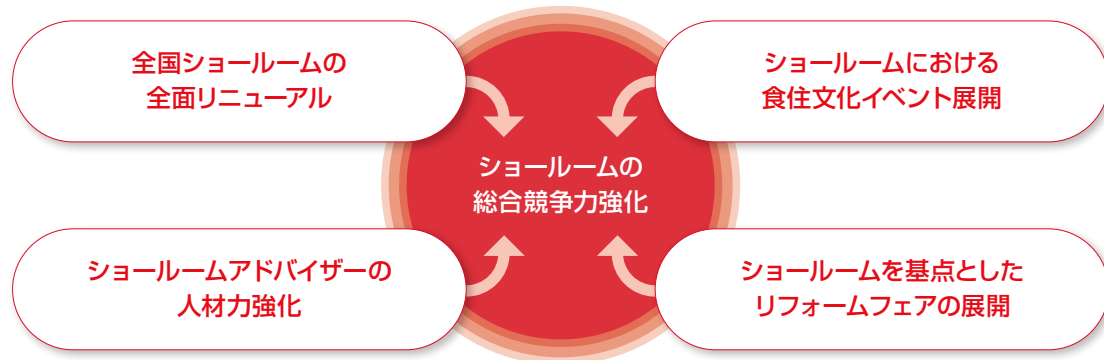
実施、スタッフの人材力強化、食住文化イベントやリフォームフェアの展開など、ソフトとハードの両面から、各種施策を複合展開しております(詳細はP5-6参照)。

下半期以降の事業環境は、先行き不透明感を払拭できない状況にあるものの、『ザ・キッチンカンパニー』の取り組みは順調に進捗しており、安定した事業基盤の構築を推進しております。

来年度(2016年3月期)は、新たな目標を見定め、新たな中期経営計画をスタートさせることとなります。そのためにも、残り半年間、現中期経営計画の総仕上げに取り組んでまいります。

株主の皆さまには、当社の今後の成長にご期待いただき、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## ■ ショールームの総合競争力強化の取り組み



# トピックス



## 新商品のご紹介

2008年発売以来人気のシステムキッチン「rakuera (ラクエラ)」が、デザイン性とマンションリフォーム対応力を向上させ、リニューアルしました。

新トレンドの導入

# rakuera

## ラクエラ

独自性の追求

「キッチンを家具と考える」をコンセプトとしたシステムキッチン「ラクエラ」は、この度、デザイン性向上を目的に「新トレンドの導入」と「独自性の追求」を図りました。新トレンドの導入として、最近注目されているインテリアテイストにあわせ、大理石や木目をモチーフとした扉柄を新たに追加。独自性の追求としては、当社独自のクリスタルUVコート鏡面扉のバリエーションを拡大。この、高級感を増したUVコート鏡面扉の、普及価格帯キッチンへの導入は当社のみです。

また、マンションリフォーム対応への幅を広げるため、梁にあわせて現場で調整可能な吊り戸棚や、低天井高対応のロータイプ(高さ216cm) 食器棚等、アイテムのバリエーションを広げました。



### ノルディック (Nordic:北欧の)

大理石調の石目柄をUVコートで美しく演出。モダンノルディックのインテリアテイストに。  
扉色: グラセストーンアクア

### ラスティック (Rustic:素朴な)

砥の粉を木に塗りこみ、拭き上げる「砥の粉仕上げ調」ピンテージな風合いを取り入れ、ラスティック風に。  
扉色: カフェウッドモカ



**NEW**  
新リフォーム  
対応アイテム

### ▶▶ 梁欠き対応吊り戸棚

リフォーム現場にて右図の範囲で梁にあわせて切り欠きが可能に。



▲ 吊り戸棚用不燃フィルター  
レンジフード脇に設置可能な不燃仕様のフィルター。フード脇の梁下などにも設置可能。



### ◀◀ 片面カップボード (ロータイプ)

天井高が低い場合も対応できる高さ216cm仕様の食器棚

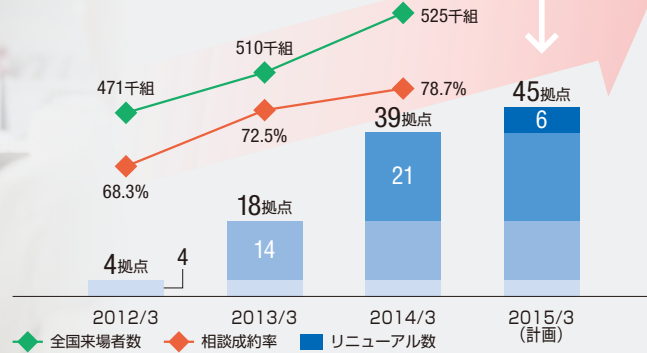


# 特集：ショールームの総合競争力強化



ショールームを基点に、  
家族の笑顔が広がっています。

過去約4年間で  
45拠点の  
リニューアルを実施



## ショールームの リニューアル 全国ショールームの 全面リニューアル

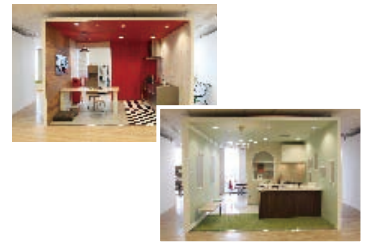
2012年3月期以降、積極的に全面リニューアルを推進し、4年間で45拠点での実施となっています。全国101拠点すべてのリニューアルに向け、今後も積極的に実施していく計画です。



東と西の2大都市では・・・

新宿ショールーム

キッチンタウン・クリナップ・大阪



食と食住空間のセレクトショップ「Dreamia 新宿」を併設し、旭屋書店とタイアップして、「食」と「暮らし」の書籍販売を行うなど、提案性も高めています。

梅田阪急オフィスビルの26階に位置する「天空のショールーム」。キッチンを中心としたライフスタイルを6つのストーリーで展示・紹介する「キッチンルーム」は、従来型ショールームには無い新しい展示方法となっています。

人材力の強化

## ショールームアドバイザーの人材力強化

全国のショールームには380名のアドバイザーを配置し、常にお客さまへの提案力の強化に努めています。その一環として、前期にはNPO 日本食育インストラクター協会が認定する「食育インストラクター3級」の資格を取得しました。そして、今期から来期にかけては、整理収納アドバイザーとキッチンスペシャリストの資格取得をめざしています。

ショールーム  
アドバイザー  
380名

- 食育インストラクター3級
- 整理収納アドバイザー
- キッチンスペシャリスト

前期に取得済み

当期から  
来期にかけ全員の  
取得を計画

食文化  
コミュニケーション

## ショールームにおける 食住文化イベント展開

地域の特徴を活かし、全国のショールームにて、さまざまな個性あるイベントを開催。特に人気を博しているのが、当社運営の「Dreamiaサロン」に登録されたサロンナーゼによる食文化コミュニケーション。近年では、高校生による特別料理教室など、幅広い年齢層を巻き込んだ多様なイベントと広がりをみせています。

サロンナーゼ登録数

約1,500名  
(2014年9月末現在)

「サロンナーゼ」とは、自宅が料理教室などのサロンを運営している方々。クリナップが2008年から運営する会員制の食文化情報コミュニティ「Dreamia Club」内の「Dreamiaサロン」に登録・活動いただいています。

「高校生レストラン」  
特別料理教室



津ショールーム

「ムラのおばちゃん直伝おふくろの味 伝承塾」  
料理教室



福岡ショールーム

「ドリミアフェスタ in UMEDA」



キッチンタウン・クリナップ・大阪

「料理研究家による プレミアムトークショー」



東京・大阪ショールーム

リフォーム

## ショールームを基点とした リフォームフェアの展開

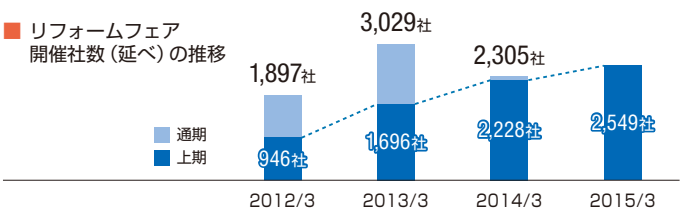


加盟店数 3,950社

(2014年9月末現在)

リフォームフェア  
開催社数(延べ)の推移

今後ますます拡大が期待されるリフォーム市場への対応として、全国のショールームにて、「リフォームフェア」の開催を継続的に強化。今期はすでに延べ2,500社を超える加盟店がリフォームフェアを開催しています。



# 連結ハイライト情報 / 連結部門別情報

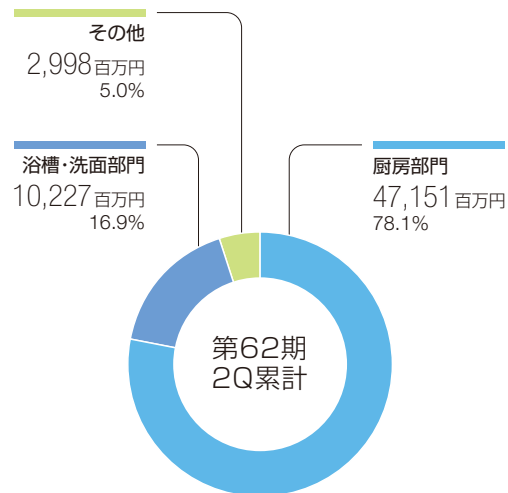
## ■ 連結財務ハイライト

(百万円)

|            | 第60期2Q累計<br>2013年3月期2Q累計 | 第60期<br>2013年3月期 | 第61期2Q累計<br>2014年3月期2Q累計 | 第61期<br>2014年3月期 | 第62期2Q累計<br>2015年3月期2Q累計 |
|------------|--------------------------|------------------|--------------------------|------------------|--------------------------|
| 売上高        | 55,159                   | 113,533          | 59,876                   | 128,785          | 60,377                   |
| 営業利益       | 2,338                    | 4,755            | 3,764                    | 8,873            | 2,517                    |
| 経常利益       | 2,146                    | 4,372            | 3,563                    | 8,470            | 2,316                    |
| 四半期(当期)純利益 | 1,290                    | 2,506            | 2,119                    | 4,970            | 725                      |
| 総資産        | 86,517                   | 85,891           | 89,204                   | 95,932           | 87,107                   |
| 純資産        | 54,760                   | 56,033           | 57,800                   | 60,626           | 56,026                   |

## ■ 部門別売上高(連結)

(百万円)



|         | 第61期2Q累計<br>2014年3月期2Q累計 | 第61期<br>2014年3月期 | 第62期2Q累計<br>2015年3月期2Q累計 |
|---------|--------------------------|------------------|--------------------------|
| 厨房部門    | 45,637                   | 99,270           | 47,151                   |
| 浴槽・洗面部門 | 11,514                   | 23,331           | 10,227                   |
| その他     | 2,724                    | 6,183            | 2,998                    |
| 合計      | 59,876                   | 128,785          | 60,377                   |

### 厨房部門の主な商品

高級品クラスのシステムキッチン「S. S.」シリーズ、中・高級品クラスの「クリンレディ」シリーズ、普及品クラスの「ラクエラ」、マンション向けシステムキッチン、セクショナルキッチン等で構成されております。

### 浴槽・洗面部門の主な商品

中・高級品クラスのシステムバスルーム「アクリアバス」、普及品クラスの「ユアシス」等の浴槽関連商品と、洗面化粧台等で構成されております。

## 第62期第2四半期連結累計期間の営業概況

### 市場環境

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景に円安及び株高基調が継続し、企業収益や雇用環境に改善がみられたものの、消費税増税による駆け込み需要の反動や夏場の天候不順なども影響して個人消費が低迷し、先行き不透明な状況

で推移いたしました。

住宅設備機器業界におきましては、新設住宅着工戸数が駆け込み需要の反動により、2014年3月より連続して前年同月を下回り、厳しい状況となっております。

### 業績・成果

このような中で当社グループは、2014年9月にシステムキッチン「ラクエラ」をデザイン性を向上させてリニューアルし、発売いたしました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るために、全国101ヶ所のショールームを活用した新商品フェアを実施し、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーとの連携も深めながら、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、東西の生産バランス再編を踏まえながら、引き続きVE活動(※)を推進し、原価低減に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比0.8%増の603億77百万円となりました。利益面では営業利益は同33.1%減の25億17百万円、経常利益は同35.0%減の23億16百万円、四半期純利益は、厚生年金基金解散損失引当金繰入額を計上したこともあり、同65.8%減の7億25百万円となりました。

※VE活動：VE(Value Engineering)は、商品・サービスの期待される機能・価格を最低コストで確実に達成するための技術であり、VE活動は生産の現場におけるVE実現に向けた取り組み。

## 第62期第2四半期連結累計期間の部門別の状況

厨房部門では、システムキッチン「S. S.」は数量、金額とも増、「クリンレディ」は数量、金額とも減、「ラクエラ」は数量、金額とも大幅増となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比3.3%増の471億51百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも大幅減、「ユアシス」は数量、金額とも減、洗面化粧台においては数量、金額とも減となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比11.2%減の102億27百万円となりました。

# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表の要旨

(百万円)

**流動資産** 流動資産は前期末比92億51百万円減少し584億74百万円となりました。これは現金及び預金が66億37百万円、受取手形及び売掛金が75億20百万円減少した一方、有価証券が7億円、電子記録債権が31億19百万円、商品及び製品が11億31百万円増加したこと等によります。

**固定資産** 固定資産は前期末比4億25百万円増加し286億32百万円となりました。これは有形固定資産が2億62百万円増加、投資その他の資産が1億96百万円増加した一方、無形固定資産が32百万円減少したことによります。

**資産合計** 総資産は前期末比88億25百万円減少し871億7百万円となりました。

|                 | 第61期2Q<br>2013年9月30日現在 | 第62期2Q<br>2014年9月30日現在 | 第61期<br>2014年3月31日現在 |
|-----------------|------------------------|------------------------|----------------------|
| (資産の部)          |                        |                        |                      |
| <b>流動資産</b>     | <b>61,504</b>          | <b>58,474</b>          | <b>67,725</b>        |
| 現金及び預金          | 27,107                 | 22,670                 | 29,307               |
| 受取手形及び売掛金       | 25,160                 | 19,769                 | 27,290               |
| その他             | 9,282                  | 16,078                 | 11,178               |
| 貸倒引当金           | △ 45                   | △ 44                   | △ 51                 |
| <b>固定資産</b>     | <b>27,699</b>          | <b>28,632</b>          | <b>28,206</b>        |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>19,673</b>          | <b>20,868</b>          | <b>20,606</b>        |
| 建物及び構築物         | 8,655                  | 9,494                  | 8,976                |
| その他             | 11,018                 | 11,374                 | 11,630               |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>2,253</b>           | <b>2,115</b>           | <b>2,148</b>         |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>5,772</b>           | <b>5,648</b>           | <b>5,452</b>         |
| 投資有価証券          | 3,199                  | 3,117                  | 3,135                |
| その他             | 2,662                  | 2,586                  | 2,378                |
| 貸倒引当金           | △ 89                   | △ 55                   | △ 61                 |
| <b>資産合計</b>     | <b>89,204</b>          | <b>87,107</b>          | <b>95,932</b>        |

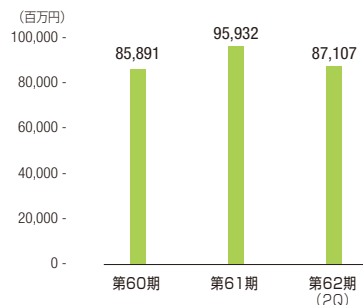
|                    | 第61期2Q<br>2013年9月30日現在 | 第62期2Q<br>2014年9月30日現在 | 第61期<br>2014年3月31日現在 |
|--------------------|------------------------|------------------------|----------------------|
| (負債の部)             |                        |                        |                      |
| <b>流動負債</b>        | <b>24,501</b>          | <b>24,643</b>          | <b>29,822</b>        |
| 買掛金                | 6,843                  | 7,075                  | 8,462                |
| その他                | 17,658                 | 17,567                 | 21,360               |
| <b>固定負債</b>        | <b>6,902</b>           | <b>6,437</b>           | <b>5,483</b>         |
| 長期借入金              | 2,368                  | 769                    | 1,569                |
| 退職給付引当金            | 1,696                  | —                      | —                    |
| 退職給付に係る負債          | —                      | 1,927                  | 1,089                |
| 役員退職慰労引当金          | 424                    | 416                    | 424                  |
| 厚生年金基金解散損失引当金      | —                      | 893                    | —                    |
| その他                | 2,411                  | 2,430                  | 2,400                |
| <b>負債合計</b>        | <b>31,404</b>          | <b>31,080</b>          | <b>35,306</b>        |
| (純資産の部)            |                        |                        |                      |
| <b>株主資本</b>        | <b>57,231</b>          | <b>54,955</b>          | <b>59,616</b>        |
| 資本金                | 13,267                 | 13,267                 | 13,267               |
| 資本剰余金              | 12,351                 | 12,379                 | 12,351               |
| 利益剰余金              | 31,837                 | 33,646                 | 34,222               |
| 自己株式               | △ 224                  | △ 4,337                | △ 224                |
| <b>その他の包括利益累計額</b> | <b>569</b>             | <b>1,070</b>           | <b>1,010</b>         |
| その他有価証券評価差額金       | 532                    | 735                    | 620                  |
| 為替換算調整勘定           | △ 36                   | 37                     | 55                   |
| 退職給付に係る調整累計額       | —                      | 298                    | 334                  |
| <b>純資産合計</b>       | <b>57,800</b>          | <b>56,026</b>          | <b>60,626</b>        |
| <b>負債純資産合計</b>     | <b>89,204</b>          | <b>87,107</b>          | <b>95,932</b>        |

**流動負債** 流動負債は前期末比51億78百万円減少し246億43百万円となりました。これは短期借入金が3億円増加した一方、買掛金が13億86百万円、未払金が17億44百万円、未払法人税等が25億89百万円減少したこと等によります。

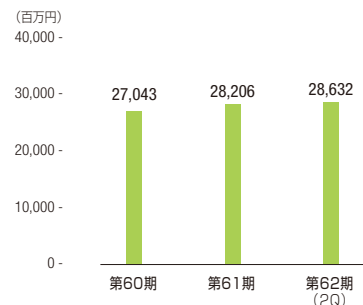
**固定負債** 固定負債は前期末比9億53百万円増加し64億37百万円となりました。これは厚生年金基金解散損失引当金の計上8億93百万円、退職給付に係る負債が8億38百万円増加した一方、長期借入金の減少7億99百万円等によります。

**純資産合計** 純資産合計は前期末比46億円減少し560億26百万円となりました。これは四半期純利益7億25百万円、配当金の支払い6億98百万円、自己株式の取得40億85百万円、退職給付に係る会計基準の改正に対応して割引率を見直したことによる期首利益剰余金の減額6億2百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前期末の63.2%から64.3%になりました。

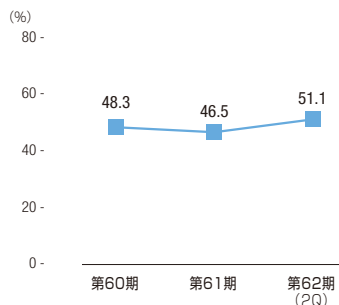
### ■ 資産合計



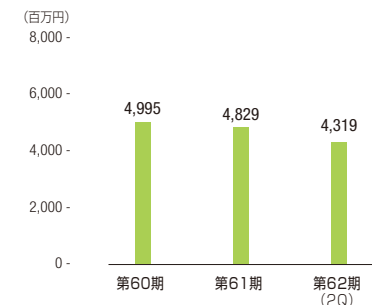
### ■ 固定資産



### ■ 固定比率

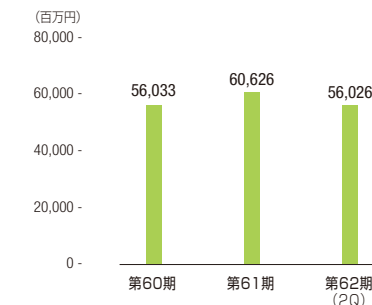


### ■ 有利子負債

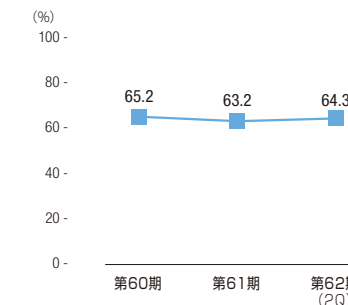


※有利子負債は短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金、リース債務の合計。

### ■ 純資産合計



### ■ 自己資本比率





# 連結財務諸表

**売上高** 新設住宅着工戸数が駆け込み需要の反動により前年同月を下回ったこともあり、浴槽・洗面部門は前年同期を下回ったものの、厨房部門は前年同期を上回り、売上高は前年同期比0.8%増の603億77百万円となりました。

**売上原価** 原価低減に努めたものの、原材料価格の高騰などもあり、売上原価率が前年同期比0.9ポイント上昇し65.7%となりました。

**販管費** 積極的な拡販活動を背景に、販管費・物流費・人件費などが増加しました。この結果、販管費は前年同期比8億83百万円増加しましたが、販管費率は同1.2ポイント上昇し30.2%となりました。

**営業利益** 微増収のなか、売上原価率・販管費率がともに上昇したことにより、営業利益は前年同期比33.1%減の25億17百万円となりました。

**四半期純利益** 四半期純利益は、厚生年金基金解散損失引当金繰入額を計上したこともあり、前年同期比65.8%減の7億25百万円となりました。

## ■ 連結損益計算書及び連結包括利益計算書の要旨 (百万円)

|                     | 第61期2Q累計<br>2013年4月1日～<br>2013年9月30日 | 第62期2Q累計<br>2014年4月1日～<br>2014年9月30日 | 第61期<br>2013年4月1日～<br>2014年3月31日 |
|---------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| <b>(連結損益計算書)</b>    |                                      |                                      |                                  |
| 売上高                 | 59,876                               | 60,377                               | 128,785                          |
| 売上原価                | 38,775                               | 39,640                               | 83,730                           |
| 売上総利益               | 21,100                               | 20,737                               | 45,054                           |
| 販売費及び一般管理費          | 17,336                               | 18,220                               | 36,180                           |
| 営業利益                | 3,764                                | 2,517                                | 8,873                            |
| 営業外収益               | 266                                  | 278                                  | 544                              |
| 営業外費用               | 467                                  | 480                                  | 948                              |
| 経常利益                | 3,563                                | 2,316                                | 8,470                            |
| 特別利益                | 7                                    | 9                                    | 88                               |
| 特別損失                | 48                                   | 944                                  | 197                              |
| 税金等調整前四半期(当期)純利益    | 3,522                                | 1,380                                | 8,361                            |
| 法人税等                | 1,403                                | 655                                  | 3,391                            |
| 少数株主損益調整前四半期(当期)純利益 | 2,119                                | 725                                  | 4,970                            |
| 四半期(当期)純利益          | 2,119                                | 725                                  | 4,970                            |
| <b>(連結包括利益計算書)</b>  |                                      |                                      |                                  |
| 少数株主損益調整前四半期(当期)純利益 | 2,119                                | 725                                  | 4,970                            |
| その他の包括利益            | 113                                  | 60                                   | 219                              |
| 四半期包括利益(包括利益)       | 2,232                                | 785                                  | 5,190                            |

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (百万円)

|                      | 第61期2Q累計<br>2013年4月1日～<br>2013年9月30日 | 第62期2Q累計<br>2014年4月1日～<br>2014年9月30日 | 第61期<br>2013年4月1日～<br>2014年3月31日 |
|----------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 3,157                                | 750                                  | 8,608                            |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | △ 1,443                              | △ 2,027                              | △ 3,393                          |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | 177                                  | △ 5,354                              | △ 1,137                          |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額     | 24                                   | △ 5                                  | 39                               |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)  | 1,916                                | △ 6,637                              | 4,117                            |
| 現金及び現金同等物の期首残高       | 27,204                               | 31,321                               | 27,204                           |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 | 29,121                               | 24,684                               | 31,321                           |

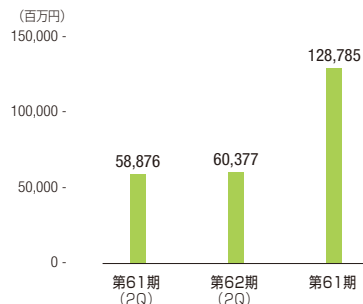
**現金及び現金同等物の四半期末残高**  
現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末に比べ6億37百万円減少して246億84百万円となりました。

**営業活動によるキャッシュ・フロー**  
営業活動によって得られた資金は7億50百万円(前年同期比76.2%減)となりました。これは税金等調整前四半期純利益が13億80百万円、減価償却費14億27百万円、厚生年金基金解散損失引当金の計上8億93百万円、売上債権の減少47億5百万円等があった一方、たな卸資産の増加12億41百万円、仕入債務の減少13億86百万円、未払金の減少16億36百万円、法人税等の支払額32億48百万円があったこと等によるものです。

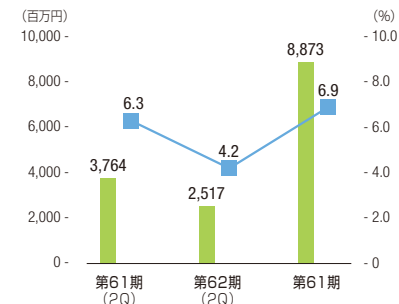
**投資活動によるキャッシュ・フロー**  
投資活動の結果使用した資金は20億27百万円(前年同期比40.5%増)となりました。これは生産設備の増設及び改修等により有形固定資産の取得による支出が12億77百万円、情報システム構築に伴う無形固定資産の取得による支出が2億56百万円、有価証券の取得による支出が5億円あったこと等によるものです。

**財務活動によるキャッシュ・フロー**  
財務活動の結果使用した資金は53億54百万円(前年同期は1億77百万円の獲得)となりました。これは自己株式の取得による支出41億15百万円、長期借入金の約定返済7億99百万円、配当金の支払いが6億98百万円あった一方、短期借入金の純増が3億円あったこと等によるものです。

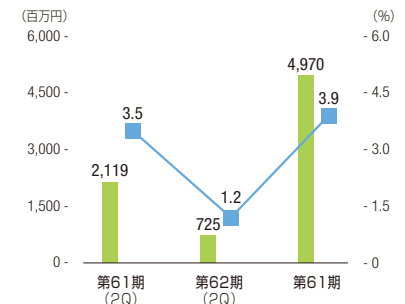
### ■ 売上高



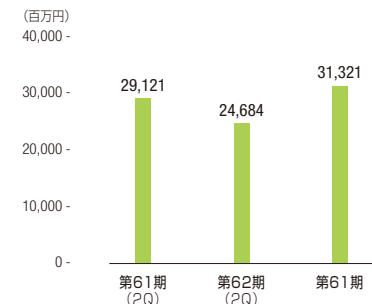
### ■ 営業利益・営業利益率



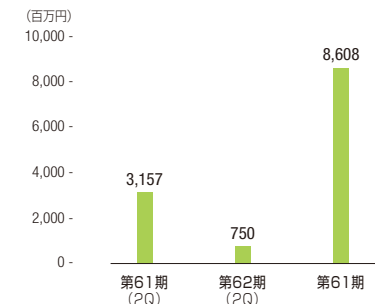
### ■ 四半期(当期)純利益・四半期(当期)純利益率



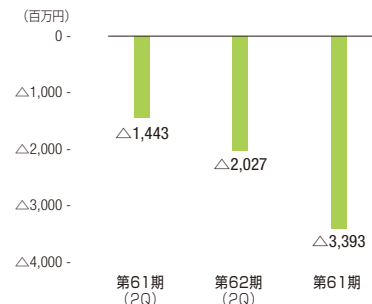
### ■ 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高



### ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー



### ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー



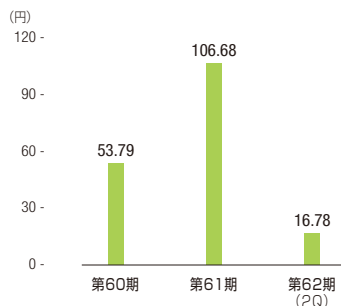
## 株主関連情報 (2014年9月30日現在)

## ■ 剰余金の配当について

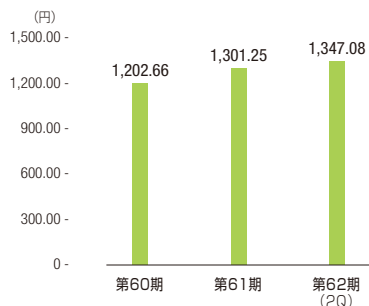
当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営方針の一つとして考えており、配当につきましては、収益の状況及び将来の事業展開を勘案し安定的な配当の継続を基本として、決定しております。

以上の方針に基づき、中間配当金は、1株当たり10円とさせていただきます。また、当期の年間配当金は、中間配当を含め1株当たり20円を予定しております。

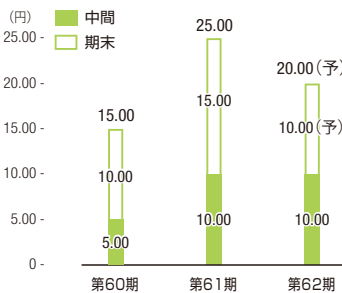
## ■ 1株当たり純利益



## ■ 1株当たり純資産

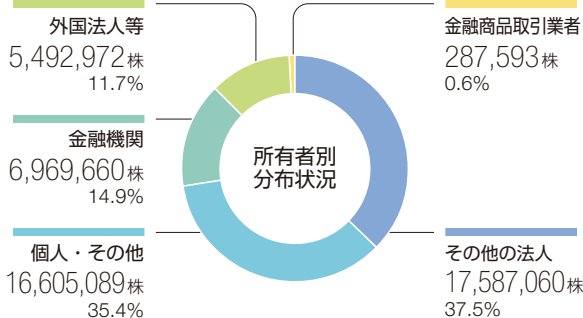


## ■ 1株当たり配当金



## ■ 株式の状況

発行可能株式総数 ..... 130,000,000 株  
発行済株式総数 ..... 46,942,374 株  
株主数 ..... 4,119 名



## ■ 大株主

| 株主名                                | 持株数(千株) | 持株比率 (%) |
|------------------------------------|---------|----------|
| 株式会社井上                             | 12,476  | 29.7     |
| クリナップ社員持株会                         | 1,963   | 4.6      |
| クリナップ真栄会                           | 1,887   | 4.5      |
| 株式会社タカヤス                           | 1,829   | 4.3      |
| クリナップ共進会                           | 1,578   | 3.7      |
| 井上 けよ                              | 1,133   | 2.7      |
| ザバンク オブ ニューヨーク トリーティー ジャスデック アカウント | 1,011   | 2.4      |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)          | 902     | 2.1      |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行                      | 757     | 1.8      |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社                      | 693     | 1.6      |

注) 持株比率は自己株式 (5,050,080 株) を控除して計算しております。

## 会社情報 (2014年9月30日現在)

## ■ 会社概要

商号 クリナップ株式会社  
Cleanup Corporation  
本社所在地 〒116-8587  
東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号  
電話 03-3894-4771(大代表)  
創業 1949年10月5日  
会社設立 1954年10月5日  
上場 1990年2月6日 東証2部上場  
1991年9月2日 東証1部指定  
資本金 132億6,734万円  
主要営業品目 厨房機器、浴槽機器、洗面機器、その他  
社員数 連結：0,000名 / 単体：0,000名  
主な事業所 支社：国内3カ所  
支店：国内4カ所  
営業所：国内125カ所  
海外：香港、北京、台湾、ハノイ  
工場：四倉、鹿島システム、湯本、クレート、鹿島  
(いずれも福島県いわき市)

## ■ 役員

代表取締役社長 井上 強一 常勤監査役 山根 康正  
取締役 加藤 亨一 常勤監査役 山本 幸男  
取締役 小島 輝夫 監査役 新谷 謙一  
取締役 小松 裕恒 監査役 有賀 文宣  
取締役 佐藤 茂  
取締役 藤本 眞一  
取締役 島崎 憲夫

注) 監査役 新谷謙一および有賀文宣の両氏は、社外監査役であります。



## ■ ショールーム/全国101カ所

北海道支店ブロック 4カ所 中部支店ブロック 12カ所  
東北支店ブロック 13カ所 関西支店ブロック 26カ所  
東京支店ブロック 28カ所 九州支店ブロック 11カ所  
上信越支店ブロック 7カ所

お近くのショールームをホームページでご確認ください。

<http://cleanup.jp/>

\*株主・投資家の皆さまに向けたIR情報(決算情報等)を掲載しております。  
また、「商品情報」をはじめ、ホットな「新着情報」、さらに「生活情報」なども掲載しております。

